

「話すこと [やり取り]」の指導における場所を尋ねたり、応じたりする活動（小学校）

1 単元名

NEW HORIZON Elementary English Course 5 Unit 5 「Where is the post office?」

2 内容のまとめ

小学校第5学年 「話すこと [やり取り]」 ア

3 単元の目標

自分たちの住んでいる地域にあったらよいと思う施設や建物を紹介したり、その場所を相手に案内したりするために、場所や位置の尋ね方や答え方などについて、自分の考えた建物とその行き方を伝え合うことができる。

4 単元の評価規準「話すこと [やり取り]」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 場所や位置を表す語句や Where is ~? Go straight for ~ block (s) . Turn left/right., It's by/in/on/under ~ .You can see it on your left/right.の表現及び、その関連語句などについて、理解している。</p> <p>[技能] 場所や位置の尋ね方や答え方などについて、場所や位置を表す語句や Where is ~? Go straight for ~ block (s) . Turn left/right. It's by/in/ on/under ~.You can see it on your left/right.の表現を用いて、伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>自分たちの住んでいる地域にあったらよいと思う施設や建物とその場所を伝えるために、場所や位置の尋ね方や答え方などについて、相手に伝わるように伝える内容を整理した上で、自分の考えた建物とその場所への行き方などを伝え合っている。</p>	<p>自分たちの住んでいる地域にあったらよいと思う施設や建物とその場所を伝えるために、場所や位置の尋ね方や答え方などについて、相手に伝わるように伝える内容を整理した上で、自分の考えた建物とその場所への行き方などを伝え合おうとしている。</p>

5 指導と評価の計画（8時間）

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

時数	ねらい（■）、主な言語活動等（丸数字）	知	思	態	評価方法
1 2	<p>■単元の目標を理解し、学習活動の見直しをもつ。</p> <p>■場所を尋ねたり、答えたりするやり取りのおおよその内容を理解する。</p> <p>①登場人物が道案内をしているやり取りの音声や映像を視聴し、会話の概要を推測しながら聞き取る。</p>				
3 4	<p>■探しものがどこにあるかを尋ね合ったり、道案内をしたりする。</p> <p>①部屋の絵を見て、物の位置を聞き取って丸で囲んだり、ペアで尋ね合ったりする。</p> <p>②例を参考に様々な場所への行き方を尋ねたり、答えたりする。</p>	○			
5 6	<p>■地域にあったらよい場所カードを作って、オリジナルタウン（簡略化した児童の住んでいる地域）で道案内をする。</p> <p>①教科書の地図を基にお気に入りの場所を決め、案内し合う。</p> <p>②地域にあったらよい場所カードを作成し、簡略化した自分たちの住んでいる地域の地図に配置する。その後その場所について英語で案内する。</p>	○		○	
7 8	<p>■世界の地図や標識やアルファベットの成り立ちになどについて考え、世界や日本の文化に対する理解を深める。</p> <p>①世界の様々な国の記号や標識を見て、日本との類似点や相違点について考える。</p> <p>②木版画を制作する仕事をしている外国人の方の映像や音声を聞いて、外国語の背景にある文化について理解を深める。</p>	○	○	○	

【POINT】

楽しみながら自然に英語の音声や表現に慣れ親しむ活動を行います。歌やチャンツで慣れ親しんだ自然な英語の表現が、実際のコミュニケーションの場で生かされることが大切です。



基本的な表現を用いて、道案内をする活動を行います。表現を機械的に繰り返すのではなく、子どもたちが考えながら、表現することが大切です。



「話すこと [やり取り]」の指導における場所を尋ねたり、応じたりする活動（小学校）

6 評価例

「話すこと [やり取り]」（知識・技能）

<p>評価場面</p>	<p>活動内容：自分たちの住んでいる地域にあったらよいと思う施設や建物を友だちに伝え、その場所までの行き方を地図上で友だちに案内する。</p>	
<p>評価方法</p>	<p>発表内容の分析</p>	
<p>児童の発表例及び評価例</p>	<p style="text-align: center;">【児童のやり取り例】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><u>児童 A</u> This is a flower park. (友だち) Where is the flower park? Go straight for two blocks. Turn left. Go straight for three blocks. Turn right. Go straight for a little bit. You can see it on your right.</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><u>児童 B</u> This is a flower park. (友だち) Where is the flower park? Go straight ... two block. Turn left. Go straight ... three block. Turn right. Go straight ... a little. You can see it on your right.</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><u>児童 C</u> This is a flower park. (友だち) Where is the flower park? Go ... two. Turn ... left. Go ... three. Turn ... right. Go ... Your right.</p> </div> <p>※児童 1～3 のいずれも同じ場所へ案内するものとする。</p>	<p style="text-align: center;">【評価例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>児童 A 〔知・技〕 … a 案内したい施設や建物について、Go straight for ～ block(s). や You can see it on your left / right. などの既習表現を正しく用いて案内することができている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>児童 B 〔知・技〕 … b 案内したい施設や建物について、言葉がつまる場面や表現の間違ひが見られるものの、既習表現をおおむね正しく用いて案内することができている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>児童 C 〔知・技〕 … c 道案内についての表現の理解が十分ではないこと、また、それらを使って十分に話せていない。</p> </div>

〔実践してみたの成果と課題〕

【成果】

- ・児童自身が住んでいる地域を題材に「地域にあったらよいもの」を考え案内することで、児童自身が必要感をもって主体的に学習に取り組むことができた。
- ・単元の中で繰り返し道案内についての表現を学習し活用してきたことから、単元の終わりには道案内についての表現を定着させることができた。

【課題】

- ・本時の評価だけでは児童全員を見取ることが難しいため、学期に 1 回程度、同じ条件下でパフォーマンス評価を行い、総合的に評価する必要がある。